

6月25日正午必着

明石春浦先生書



豊樂年成春酒多昇平時世壽人多。太平を謳歌せしものである。

明石幸子書



宵あさくひとり籠ればうらがなし雨蛙ひとつかいかいと鳴くも (齋藤 茂吉)

菅井松雲先生書



側石狀奇峭。横竹枝扶疎。  
猗蘭復參立。信哉德不孤。

(元・楊載)

趙子昂の畫竹蘭石に題せしもの、蘭竹は石や蘭が配せられている。これ徳孤ならざる所以。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

燕語簾櫳 (劉禹錫)

燕簾櫳に語る

雨後人散じた後の光景。

道逢漁父來 指點停舟處  
只在小橋邊 風吹著溪樹

(黃景仁)

道に漁父の来るに逢う。指點す舟を停むるの処。只在小橋の辺に在り。風吹いて溪樹に著く。

漁夫に行きあつたので、渡し場をたずねたら、指さして教えてくれた。何と渡し場は小さな橋のたもとところ。風が川ばたの木にそよいでいる。

送人尉黔中 (周 繇)

人の黔中に尉たるを送る 周 繇

盤山行幾驛 水路復通巴  
峽漲三川雪 園開四季花  
公庭飛白鳥 官俸請丹砂  
知尉黔人後 高吟採物華

山を盤りて行くこと幾駅ぞ 水路 復た巴に通ず  
峽は漲る 三川の雪 園は開く 四季の花  
公庭 白鳥飛び 官俸 丹砂を請う  
知る 黔人に尉たるの後 高吟して 物華を採るを

雨はこぶゆふへの雲の風さきに 初音ふかれて ゆくほととぎす (井上 文雄)

半紙部規定課題A

6月25日正午必着

雪山  
在  
山  
明  
殘

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

6月25日正午必着

行書

山明殘  
雪在

隸書

山明殘  
雪在

明石春浦先生書

草書

山明殘  
雪在

行草書

山明殘  
雪在

呉の地を遊歴し 更に越の地方に行き ただ風まかせ 波まかせに往来する  
またも貴方をお送りするのだが 春の草の茂るのをどうすればよいのでしょうか  
山の頂は明るく まだ雪が残り 潮は満ちて いっぱいに夕陽の日ざし  
いまものこる季子の祠廟 舟をとめて ちょっと立ち寄られるよう

送「韓司直」 皇甫冉

游呉還適越

来往任風波

復送王孫去

其如芳草何

山明殘雪在

潮滿夕陽多

季子留遺廟

停舟試一過

韓司直を送る

呉に遊び 還た越に適き

来往 風波に任す

復た王孫を送り去る

其れ芳草を如何せん

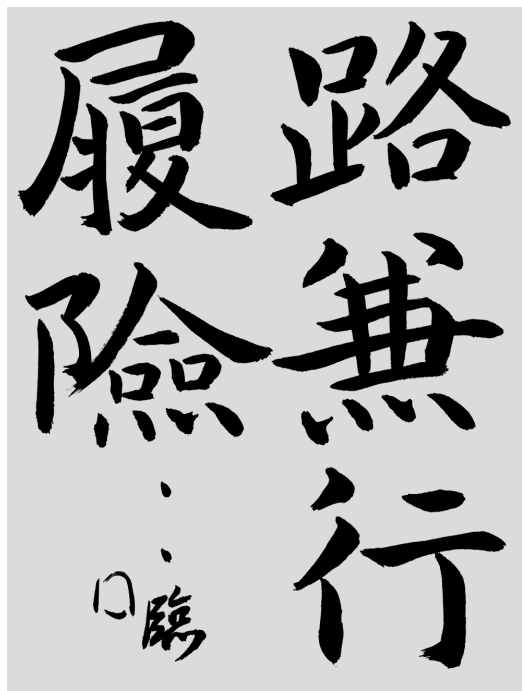
山明らかにして 殘雪在り

潮滿ちて 夕陽多し

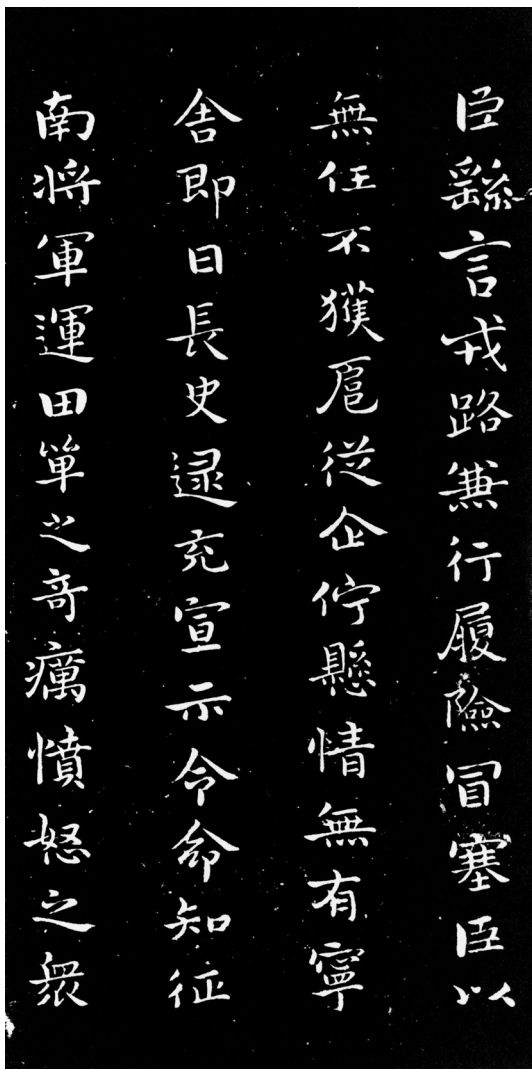
季子 遺廟を留む

舟を停めて 試みに一たび過らんことを

(出典)  
朝日新聞社刊  
「三体詩」下より



(戎) 路兼行し、險を履み



窪田華岳先生臨書

魏 鍾繇・賀捷表

鍾繇（一五一〜二三〇）は、字を元常といい、潁川長社（河南省長葛県の西）の人である。始め漢王朝に仕え、後漢の献帝のとき、考廉にあげられた。その後、関係の深かった魏大祖曹操に手厚く迎えられて建国に尽くし、文帝、明帝と三代に仕えた。晩年膝を患ってからは輿にのって宮中に入ることを許された話は有名である。

書は、劉徳升に学び、八分、楷書、行書の三体をよくしたと伝えられるが、後世では楷書の名手として名高い。薦季直表・墓田丙舎帖・宣示表等を残したが、一説によると王羲之の手によって臨模されたものであるともいわれている。

この賀捷表は戎路表ともいわれ宣示表や薦季直表と比較すると古朴さに欠け、やや技巧的なところが見られる。

扁平で丸みをおび、行書的なところが多く、横画の起筆は筆を斜めにして筆圧を加え、後は軽く送筆しているように書かれている。また、全体に横画が細く縦画が太くなっており、温和で自然な用筆で運筆されている。

臣繇言、戎路兼行、履險冒寒、臣以無任、不獲扈從、企佇懸情、無有寧舍、即日長史、逮充宣示令、命知征南將軍、運田單之奇、癘憤怒之衆、

臣繇言す。戎路兼行し、險を履み寒を冒す。臣は任ずる無きを以て、扈從するを獲ず。企佇して情を懸くも、寧有る無し。即日長史は宣示令に充てらるるに速び、命じて征南將軍に知す。田單の奇を運らし、憤怒の衆を癘まし、

6月25日正午必着

任不獲扈從企佇懸情無有  
寧舍即日長史逮充宣

任不獲扈從企佇懸情無有寧舍即日長史逮充宣

△做書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

野寺分清樹山亭過晚霞春  
深無客到一路落松花

野寺のてらせいじ分晴樹わけわかち  
春深はるふかく無客なげきやく到いたる

山亭さんてい過わかすく晚霞いちょうしやうかおつ  
一路落松花

(施閔章)

野の寺に 陽をあびた木々が明るく 山の亭に 夕もやがかる  
春は深まり たずねる人もなく 一すじの路に 松の花が落ちる

6月25日正午必着

教育部毛筆



さい

ばい

中学一年

雨宮春聲先生書



でん

どう

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



でん  
田

えん  
園

小学五年

榎戸春龍先生書



うん  
運

が  
河

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



6月25日正午必着



いと  
糸

ぐるま  
車

小学三年

藤田幸春先生書



りゅう  
流

すい  
水

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

そ ば 小学一年・幼年



森戸春濤書

火 山 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

お店のやきそばは  
大きな鉄板で作る

小学五年

テレビで天気予報を  
見てから出かける

小学六年

自分の書いたものを  
小冊子にまとめる

中学

梅雨どきは特に健康  
に留意—ま—よう

一般(級位)

よ—れ—る。野もせの草の  
かげろひで涼しく曇る夕立の空

一般(段位)

よ—れ—る。野もせの草の かげろひで涼しく曇る夕立の空 (西行)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

に	か
	え
と	る
び	が
こ	
ん	い
だ	け

幼年

五	メ
こ	ロ
か	ン
い	ぱ
ま	ん
し	を
た	

小学一年

が	山
	寺
さ	に
い	あ
て	じ
い	さ
る	い

小学二年

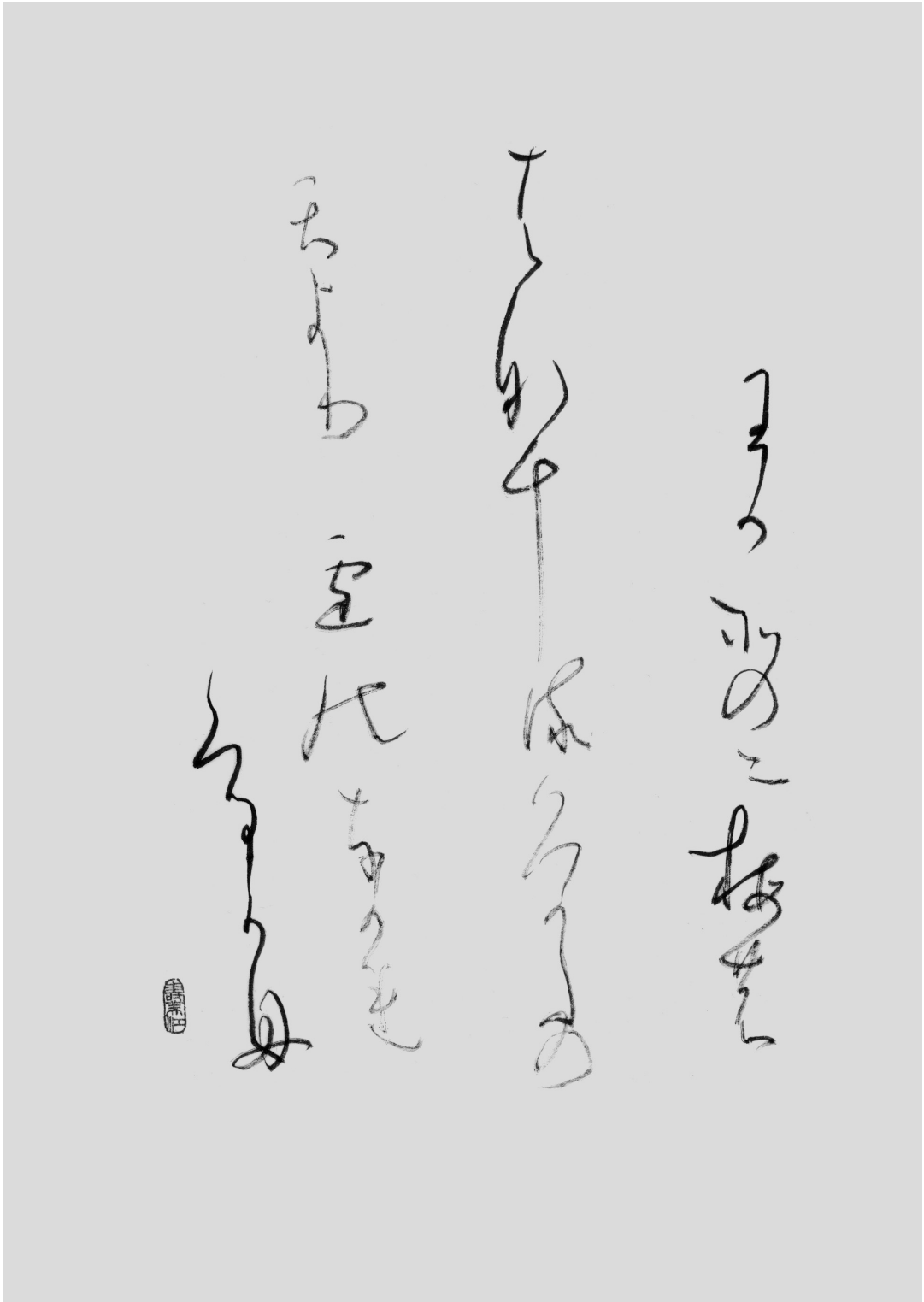
リ	朝
ス	も
が	や
は	の
し	中
る	
	子

小学三年

な	さ
は	い
ん	ば
だ	ん
ん	所
を	は
下	公
す	正

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

王可所 二に 梅のはなちる 久かたの 天より雪のながれくるかも (大伴旅人)  
農者那千流 ひさ 可多 あめ 利能 奈可連 可母